

## プロペラシャフト給脂メンテナンスについて

プロペラシャフトの給脂メンテナンスを怠ると、ジャーナル（継ぎ手）部の動きが悪くなり、ニードルベアリングが摩耗してガタを引き起こし、そのままご使用になると、ジャーナル部が損傷し走行不能に至る場合があります。 **確実な点検と給脂の実施をお願い致します。**

### ■対象車両

全モデル（大型／中・普通型車両）

### ■不具合事例

破損したニードルベアリング



破損したジャーナル（継ぎ手）

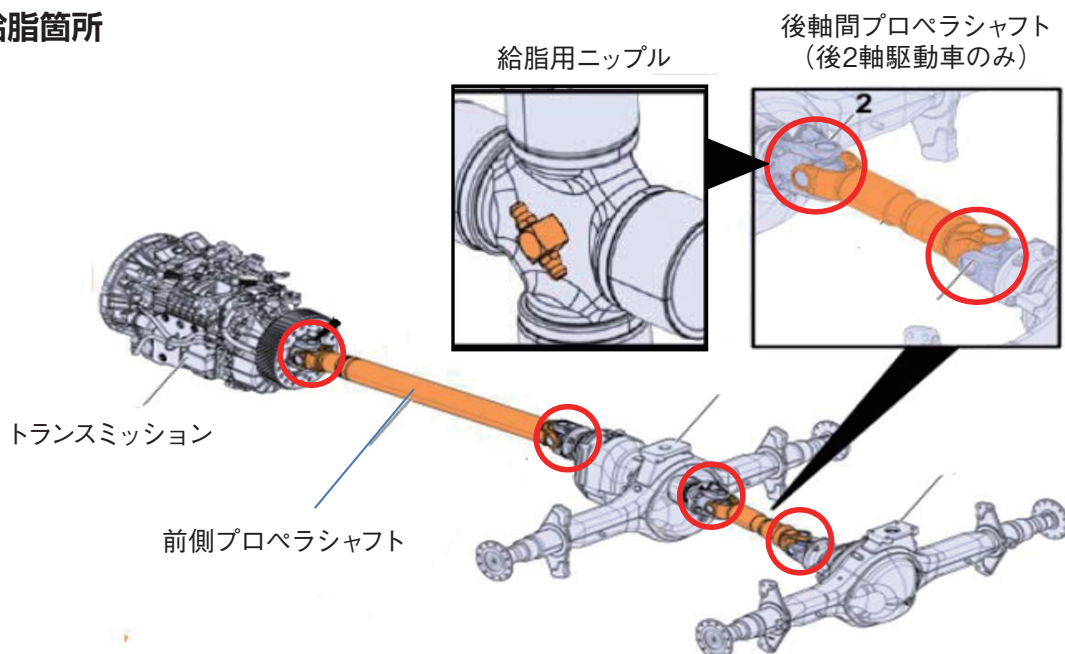


### ■給脂メンテナンスについて \*本内容は取扱説明書に記載の内容と同一の内容です。

**5,000km又は6ヵ月毎**（いずれか早く到達した時点で給脂）に行ってください。

※後2軸駆動車は、前側プロペラシャフトと併せ、**後軸間プロペラシャフトも忘れず**に実施してください。

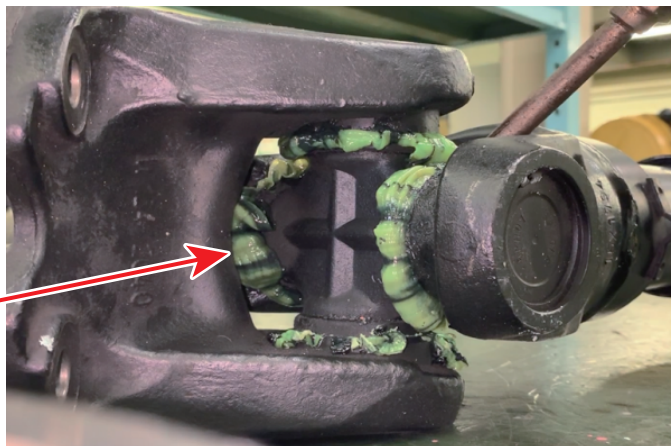
### ■給脂箇所



## ■ 給脂方法

- ・ グリースはUD純正ベアリンググリースを使用してください。
- ・ 給脂はグリースニップルの泥やほこりを拭き取ってから行ってください。
- ・ 給脂はシール部分4ヶ所から **古いグリースが確実に排出されるまで** 行ってください。  
(給脂量の目安：1箇所あたりグリースガンで10～15ストローク(約15g)程度)
- ・ 給脂後、溢れ出たグリースは拭き取ってください。

溢れたグリースは  
ふき取ること

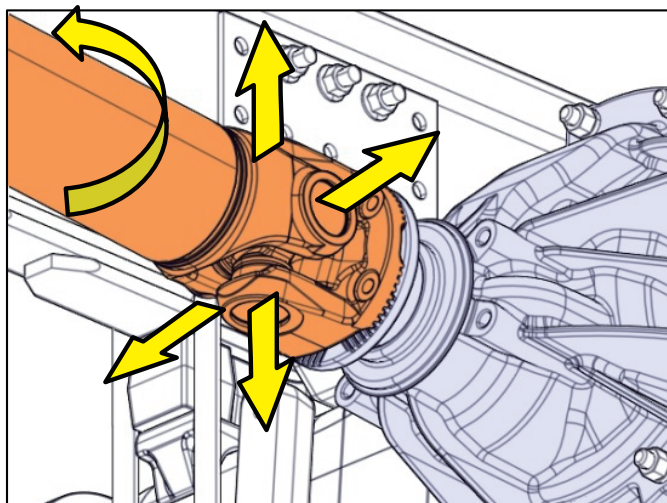


## ■ 車検時のガタ点検について

プロペラシャフトのガタ点検は、**12カ月ごと**の点検が法令で定められています。

ガタ点検は給脂前に実施してください。

点検時期を守り、給脂前にジャーナル部を手で回転方向、上下、左右方向に動かして確実に点検の実施をお願い致します。



## おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンス ノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については保証の対象になりませんのでご注意ください。